

資料2

人がつながり、支え合い、チャレンジし続ける
東部まちづくり

Action Plan(案)



2024年度～2026年度



発行 小牧市

資料2

人がつながり、支え合い、チャレンジし続ける
東部まちづくり

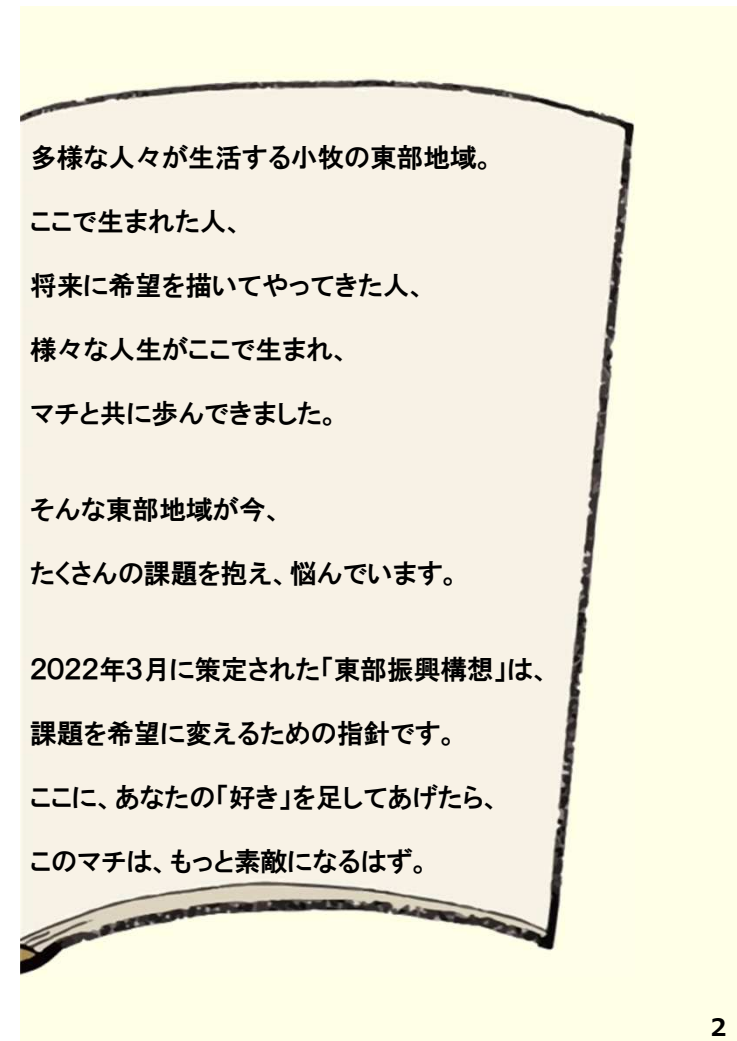
Action Plan(案)

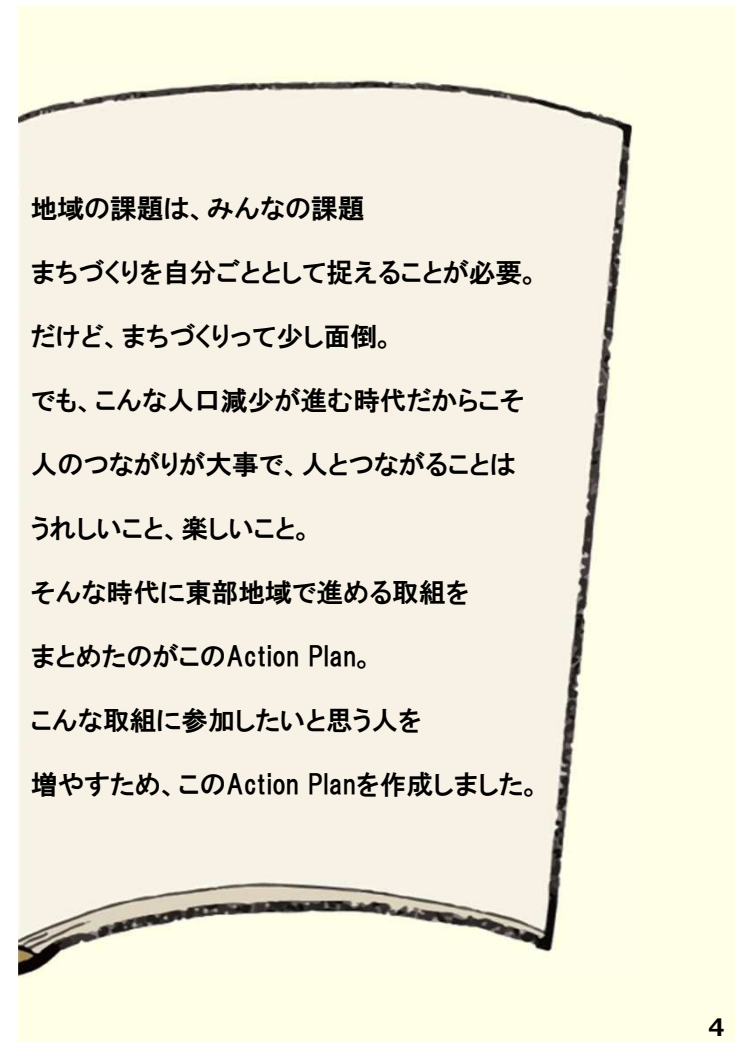


2024年度～2026年度



発行 小牧市





目次

プロローグ・・・・・・・・・・	P1
アクションプランと リーディングプロジェクトって何？・・・・・・・・	P6
東部振興構想とアクションプランの関係・・・	P7
東部まちづくりの進め方・・・・・・・・・・	P11
リーディングプロジェクト・・・・・・・・・・	P13
実施中の取組一覧・・・・・・・・・・	P35
その他の新たな取組一覧・・・・・・・・・・	P49
東部まちづくりの進捗確認・・・・・・・・・・	P51



アクションプランと リーディングプロジェクトって何？

東部地域のまちづくりの
取組を見える化したものです。

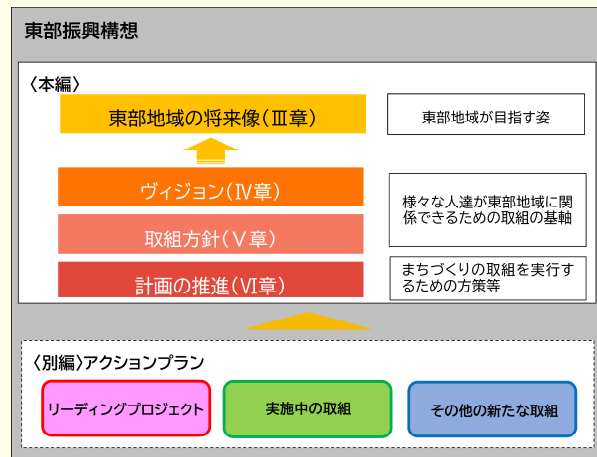


- **Action Plan**とは、
東部振興構想(2022年度～2031年度)
に基づき、今後、3カ年の取組を毎年まとめるものです。
- **Leading Project**は、大きくわけ2つのカテゴリーに分けられます。
 - **アルファベット表記のリーディングプロジェクト**
まちづくりの仕組みづくりや各活動を支援する制度です。
 - **数字表記のリーディングプロジェクト**
東部地域で関係者(住民、事業者、団体、学校など)とともに、
新たに実施する取組のほか、これまでの取組を組合せ、
プロジェクトとしたものです。

東部地域では、これまで様々な取組が行わ
れています。
そんな取組みや新たに進める取組などを
多くの人に知ってもらい、
参加してもらいたくて、
リーディングプロジェクトを見える化します。



東部振興構想とアクションプランの関係



※東部振興構想の体系は9・10ページにあります。



アクションプランと東部振興構想って、なにがちがうの？



構想は、まちを良くするための「行動のみちしるべ」、アクションプランは、「行動のみちしるべ」に沿って進められる取組をまとめたものだよ。



へ～そうなんだ。でも、アクションプランって具体的にどんなことがまとめられているのかな？

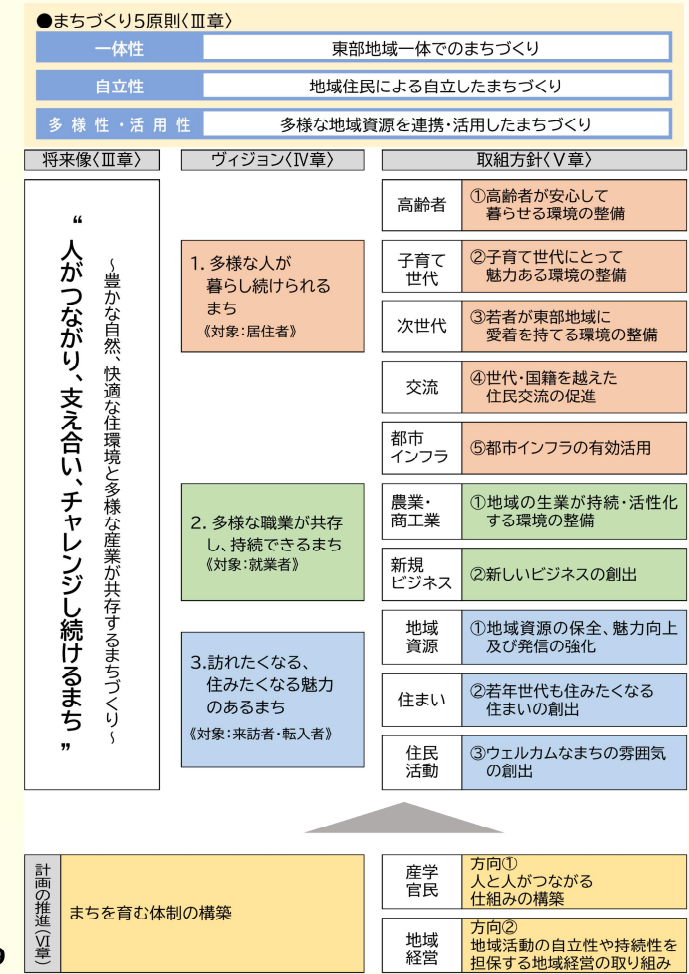


アクションプランは、「リーディングプロジェクト」や「実施中の取組」、「その他の新たな取組」から成る市が毎年策定する3カ年のローリング計画だよ。

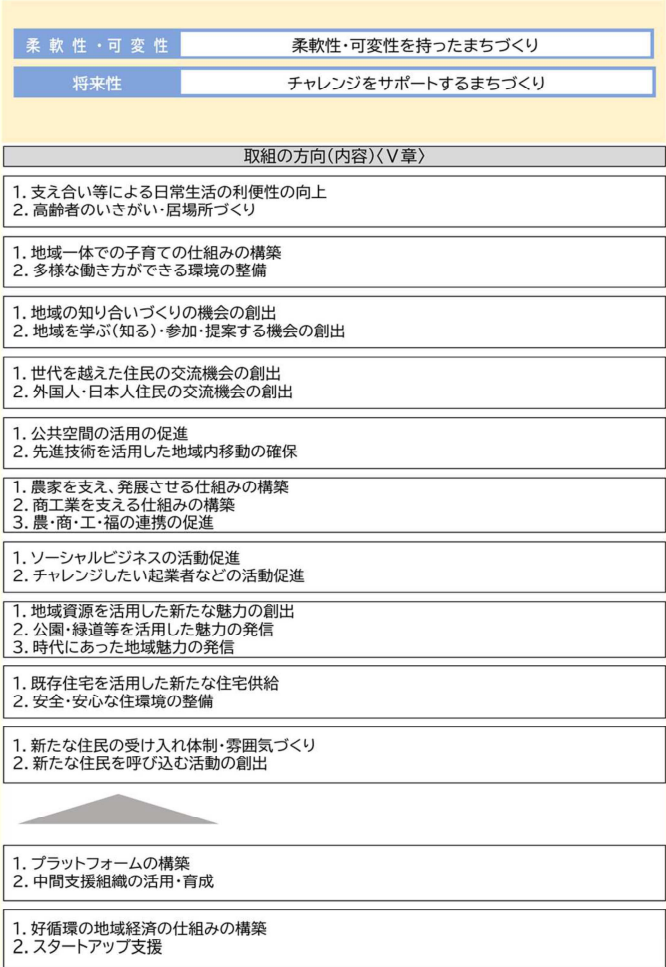


なるほど！これをみれば、今、東部地域で、どんなことが進められているかわかるってことだね！！

東部振興構想の体系



9

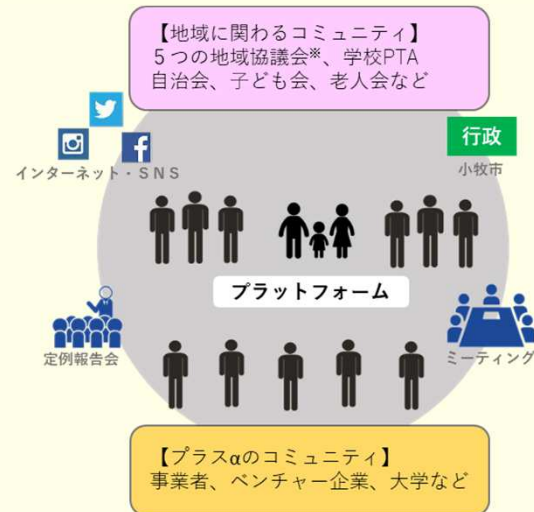


10



東部まちづくりの進め方

東部まちづくりプラットフォーム



11



東部まちづくりってどんなまちづくりを目指しているの??



今後の東部まちづくりは、地域住民をはじめ、事業者、教育機関、行政などがつながり、支え合い、チャレンジし続けるまちを目指しているよ。そのためにも、構想やこのアクションプランを多くの人に知ってもらうことが大切なんだよね。



へ～そうなんだ。
でも、地域住民や事業者、教育機関が
つながる場ってなかなかないよね。
どうつながっていくのかな??



東部まちづくりに興味のある人、誰でも集える場として、東部まちづくりプラットフォームっていう、いろんな人と対面はもちろん、インターネットやSNSなど様々なものでつなぐ、交流できる場をつくろうとしているんだよ。



なるほど！
まずは、構想やアクションプランを広く知ってもらい、この東部まちづくりプラットフォームに参加する人を増やしていくことが大切なんだね。

12



リーディングプロジェクト(A~C、1~4)

LEADING

A

人と人がつながるプロジェクト 【市(東部まちづくり推進室)】

PROJECT

東部まちづくりプラットフォームの目的である「人のつながる場」を創出します。
2022年度にスタートしたトライアル活動の「仲間増やし」や「企画のブラッシュアップ」に加え、東部振興構想に寄与する新たなトライアル活動の創出を目的にワークショップを開催します。

⇒詳細は
21、22ページへ



13

LEADING

B

まずはやってみようプロジェクト (トライアル活動支援制度) 【市(東部まちづくり推進室)】

PROJECT

人と人がつながるプロジェクトで、
具体化したアイデアや
東部地域に関わる方が
自発的に提案する新たな取組、
既存の取組をさらにブラッシュアップした取組
を行政に提案し、実際にトライアルしてみます。



小牧市東部地域のために
活動してみようかな!?
気軽にやってみたいな!?

⇒詳細は
23、24ページへ

14

LEADING

C

東部地域まちづくり活動パートナーシップ制度
【市(東部まちづくり推進室)】

PROJECT

東部地域のまちづくり活動が、持続的かつ自立する活動となっていくよう、地域の事業者等が、東部地域まちづくり活動を支援しやすい環境を構築することで、まちづくり活動が円滑に進む制度を開始します。

⇒詳細は
25、26ページへ



15

LEADING

I

こどもマルシェ
【こどもマルシェ実行委員会】

PROJECT

- ①こどもの社会体験の機会創出
 - ②育児を頑張るママ・パパへの癒しの提供
 - ③子育て世代が交流できる場の創出
- を目的にこどもマルシェを開催します。

⇒詳細は
27、28ページへ



16

LEADING

2

あおぞら市場 in 緑道 【桃ヶ丘小学校区地域協議会】

PROJECT

- ①地域の農家さんと地域住民の交流促進
 - ②地産地消の推進
 - ③高齢者の買い物支援
- を目的に桃花台ニュータウンの充実した緑道を使用したあおぞら市場を開催します。

⇒詳細は
29、30ページへ



17

LEADING

3

小牧市東部の特産品 「地産地消プラットフォーム」 【地産地消推進チーム】

PROJECT

東部地域における地産地消の促進や食を中心に多様な人が交流できる場の創出のため、インターネット上にプラットフォームの運営を行うとともにoff-lineでの料理イベントを開催します。

⇒詳細は
31、32ページへ



18

LEADING

4

Waibeeeeマルシェ

【Waibeeeeマルシェ】

PROJECT

桃花台線旧車両基地用地などの未利用地を
活用し、キッチンカーなどの出店者を募り、
東部地域の賑わいを創出します。

⇒詳細は
33、34ページへ



LEADING PROJECT A

人と人がつながるプロジェクト

プロジェクトが目指す成果

顔見知りを増やすことで、多様な人が地域活動、まちづくりに参加し、いろいろな取組のアイデアが議論され、行動の起点の場がつくられている。

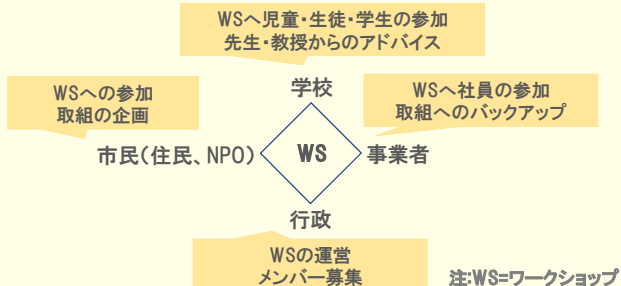
プロジェクトの概要

いろんな人とつながろう！！

東部地域には、高齢者、子育て世代、こどもも住んでいて、外国人もいます。さらには、事業所もあれば、大学もあります。

顔見知りを増やすことで、自分だけでは達成できない課題でも、みんなで協力すれば達成できるかもしれない。

そんな人と人がつながれる場を、まずは行政が設定します。



21

東部振興構想の位置づけ

計画の推進 ①-1

プロジェクトのプロセス

STEP1 もっと多くの人と交わろう

まちにはもっとたくさんの人がいて、いろんな意見を持っている人がいます。新たなメンバーも加えて東部地域の中でどんなことができたらいいか、考えます。また、既存の取組をよりよいものとする検討を行います。

STEP2 自分たちがやって楽しい企画を考えよう

STEP1で考えた企画を、実際に自分たちで行う場合、どこまでなら負担なくできるか、活動が続けられるか、費用面も含め、検討します。ここでのポイントは、「無理しない」、「楽しんでやる」です。継続していくには、とても大切なことです。



STEP3 アイディアを磨き、企画のまとめ

何を、いつ、どこで、誰と、どんなふうにするか。その準備にどのくらい時間が必要か。スケジュールを立てながら、みんなで無理なくできる企画提案をまとめます。必要に応じて、市の補助金の申請手続きを進めます。

22

LEADING PROJECT B

まずはやってみようプロジェクト
(トライアル活動支援制度)

プロジェクトが目指す成果

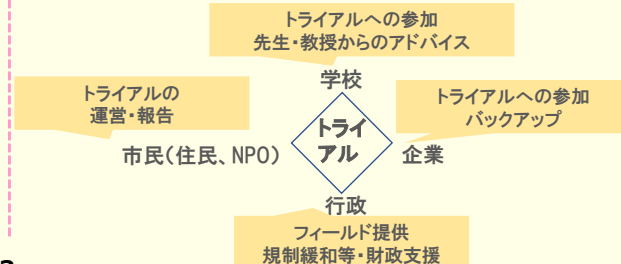
地域の住民や企業、大学、行政などが協力して、
チャレンジしている！！

プロジェクトの概要

失敗をおそれず、やってみる！！

リーディングプロジェクト1で具体化されたアイデアや
東部地域に関わる方が自発的に提案する新たな取組、
既存の取組をさらにブラッシュアップした取組を
市に提案し、実際にトライアルしてみます。
提案された取組で、東部振興構想に合致する場合、
認定支援と補助金支援の2種類でプロジェクトを
サポートします。活動が円滑に進められるよう、
市からの支援も活用し、無理なくトライしてみます。

【認定支援】公共施設の減免利用が可能
【補助金支援】認定支援に加え、
補助金上限20万円(初年度)
上限10万円(2年度)



23

東部振興構想の位置づけ

計画の推進 ①-1

計画の推進 ②-1、2

プロジェクトのプロセス

STEP1 企画提案をしよう

スケジュールに無理はないか、かかる費用
は妥当なのか、確認したうえで、企画提案を申請書に
まとめ、市に提出します。
市の審査を受け、プロジェクト認定を受けます。

STEP2 まずはやってみよう

STEP1で立てた企画を、実際にやってみます。
実施にあたっては、みんなで協力し(役割分担)、
地域の声も聞き(交流)ながら進めます。
また、やって「おしまい」とならないよう、イベント等に参加
してくれた方々の感想をフィードバックしたり、次の取組に
必要なお金を「稼ぐ」という仕組みづくりも併せて考えます。

STEP3 振り返ってみよう

やってみた企画の良かったところ(Keep)、
悪かったところ(Problem)、
次はこうしてみたい！(Try)
について、整理し、
持続的な活動のために
は何が必要か振り返り、
報告会での発表を経て、
実施報告書を作成します。



24

LEADING PROJECT C

東部地域まちづくり活動パートナーシップ制度

プロジェクトが目指す成果

東部地域で進められるまちづくり活動を
様々な人たちのつながりで進められている。

プロジェクトの概要

地域を活性化していくうえで、
まちづくり活動団体等、事業者等、
行政が抱える課題は様々です。
それぞれの課題を、それぞれが支え合える制度を開始します。



東部地域で進められるまちづくり活動を
事業者など様々な人たちが、
財政面や物資面などの支援により、円滑に進めれるよう、
各々の特性を活かした仕組みを構築します。



活動団体等

- 地域活動をはじめたい、継続していきたいけど、活動資金が足りない
- 企業寄付を募りたいけど、営業訪問に時間をさけない

地域活動の主体



行政（市）

- 活動団体に行政資金とは違い、使用用途に自由度のある活動資金等の援助ができないか
- もっと地域一体で、今あるまちづくり活動を支援、応援はできないか

マッチング機能



事業者等

- 地域に貢献したいが、何をしたらよいかわからない
- 地域貢献したいが、時間も人手も不足していて地域活動まで行えない

財政・物資等貢献

25

東部振興構想の位置づけ

計画の推進 ①-I

計画の推進 ②-I

プロジェクトのプロセス

STEP1 まちづくり活動団体が活動を登録

東部振興構想に寄与するまちづくり活動を「東部地域まちづくり活動パートナーシップ制度」に登録し、市ホームページで、事業者等にまちづくり活動をPRします。

STEP2 事業者等が支援したいまちづくり活動を検討

事業者等は、登録されたまちづくり活動を見て、応援したい活動があれば、行政(市)にマッチングの申込をします。その後、対面で顔を合わせ、支援の決定を行います。

STEP3 事業者からの支援

事業者は応援したい活動へ
財政面や物資面等で、
直接、まちづくり活動を支援します。
その後、支援したことを
市に報告します。
市は、事業者等が
支援したことを
市ホームページで、
市民等へ広く周知します。



26

LEADING PROJECT I

こどもマルシェ

プロジェクトが目指す成果

こどもも、おともも、みんな笑顔で、
こどもを中心に地域を元気にする輪が広がっています。

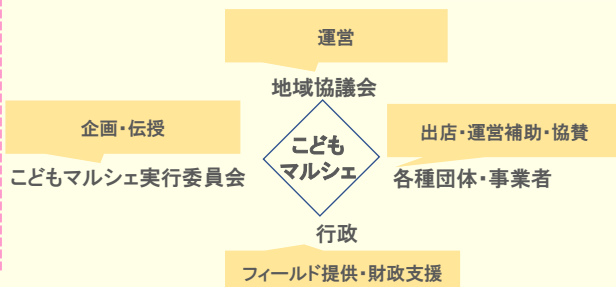
プロジェクトの概要

東部地域の様々なエリアで
こどもマルシェが広がり、みんなが笑顔



- ①こどもに社会体験をしてほしい
 - ②子育てに疲れたママ・パパに癒しを提供したい
 - ③子育て世代の交流の場を創出したい
- そんな想いでトライアル活動として挑戦しています。
その運営を担った「こどもマルシェ実行委員会」
の次の目標は、東部地域の様々な場所で、
こどもマルシェを開催していくことです。
そのために、様々な人とつながり、
協力を得ながら、活動を継続していきます。

こどもを中心に
つながれる
マルシェって
いい発想だね



27

東部振興構想の位置づけ

ヴィジョンI ②-I

ヴィジョン3 ③-I

プロジェクトのプロセス

STEP1 継続性も持った企画を検討します。

こどもマルシェを、東部地域の様々な場所で継続的な
活動としていくため、財源確保の方法、人手の確保な
どの検討を行います。

STEP2 みんなで準備します。

ミーティングを重ね、役割分担を行い、
出店者の募集、開催のPRなど、
こどもが出店してよかった、
楽しかったと思ってもらえるよう、
入念な準備を行います。



STEP3 みんなで活動します。

こどもマルシェ実行委員会が、児童館や地域協議会など
様々な人と協力しながら、こどもを中心に、みんなが笑顔
になれる「こどもマルシェ」を実践します。
東部地域の各エリアの特徴を
活かしながら、各地域にあった
こどもマルシェを開催します。



28

LEADING PROJECT 2

あおぞら市場 in 緑道

プロジェクトが目指す成果

地域の農家と地域住民が連携・協力して生活支援にもつながる交流の場を創出しています。

プロジェクトの概要

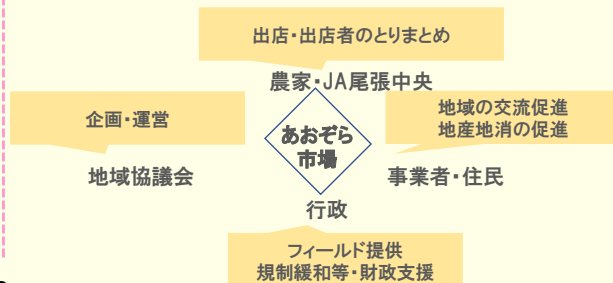
桃花台ニュータウンの緑道を使って、軽トラ市を開きます。



- ①地域の農家と地域住民の交流促進
 - ②地産地消の促進
 - ③高齢者の買い物支援
- そんな3つ視点で活動しています。
22年は1回、23年は2回と回数を増やしながら実施しています。
開催時期も含め、出店してもらった農家さんが出店しやすい環境であったり、農家さんに限らず、もっと多様な人が出店できる環境づくりを進めています。



あおぞら市場って
農家も住民もみんな喜ぶ
プロジェクトだね！



29

東部振興構想の位置づけ

ビジョン1 ④-1

ビジョン2 ①-1

プロジェクトのプロセス

STEP1

JA尾張中央、地域の農家と連携を深めます

2022、2023年度にトライしたあおぞら市場には、多くの地域住民が足を運び、定期開催を望んでいます。継続的な開催に向け、JA尾張中央や地域農家さんとの絆を深め、出店いただける農家を増やします。

STEP2

地域住民も出店できる企画

地域の農家さんだけでなく、家庭菜園をする地域住民、キッチンカーの出店、外国籍の人の出店など多様な人が出店したくなるあおぞら市場をめざすため、野菜のみならず、様々なお店の出店や、こどもが来なくなる催しなど様々な企画を検討します。

STEP3

あおぞら市場を開きます

多くの地域住民の交流の場とするため、効果的な周知方法を検討するとともに、広くPR活動を行います。

また、JA尾張中央、出店者などと当日の役割分担をしたうえで、あおぞら市場を開催します。



開催後は、次回のおおぞら市場をより良いものとするため、アフター会を開催します。

30

LEADING PROJECT 3 小牧市東部の特産品 「地産地消プラットフォーム」

プロジェクトが目指す成果

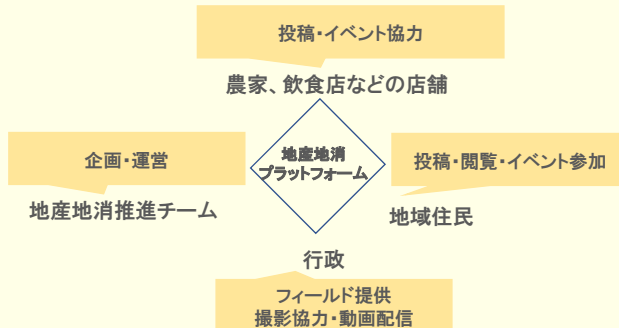
食を通して地域住民等の交流がなされ、地産地消の促進につながっています。

プロジェクトの概要

Facebookグループ機能を活用し、地産地消プラットフォームを構築し、食を通して地域住民等の交流を促すことにより、地産地消を推進します。



2023年1月24日にオープンした「地産地消プラットフォーム」内で、様々な人が東部地域産の食材を使ったレシピ、メニュー、商品を投稿します。これらの投稿されたレシピ等をもとに、コメント機能で地域交流を図ります。また、実際に会って交流するイベントも開催し、オンライン、オフラインと様々な交流機会を創出します。



31

東部振興構想の位置づけ

ビジョン1 ④-1, 2

ビジョン2 ①-1, 3

プロジェクトのプロセス

STEP1 企業協賛を募ります。

地産地消プラットフォームへ参加してもらえる地域住民や、農家、飲食店などを増やすため、「地産地消プラットフォーム」を広く周知します。今後は店舗の発掘ができればいいなと考えています。また、持続可能なプロジェクトとするため、企業の応援が得られるよう働きかけをしていきます。

STEP2 オンラインでの交流

オンライン上の地産地消プラットフォームで、レシピ、メニュー、商品などの投稿を促します。例えば、農家さんと協力して、農家さんならではのレシピや調理・保存のちよいテクなどの紹介を企画しています。

STEP3 オフラインでの交流

オフラインでは、実際に対面で会って交流することを目的に、料理づくりイベントなどを開催します。

調理系クラブと協力し、地産地消クッキングを開いたり、地元食材で外国料理をつくるイベントなど、食をキーワードにしたイベントを開催します。



32

LEADING PROJECT 4

Waibeeeeeマルシェ

プロジェクトが目指す成果

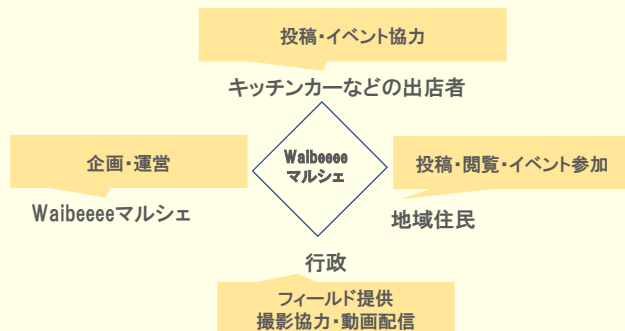
未利用地等をつかって、新たな賑わいが創出され、まちが活気あふれています。

プロジェクトの概要

桃花台線旧車両基地用地などの未利用地等の新たな活用方法として、キッチンカーや物販などの店舗を集め、東部地域の賑わいを創出します。



2023年11月25日、26日に初めて、桃花台線旧車両基地用地の利活用として、キッチンカーやブース出店のお店を1日あたり50店舗以上が出展するイベントを開催。多くの人が訪れる2日間となりました。飲食店の少ないこの地域。キッチンカーなどのお店が飲食店の代わりとなるよう夜間営業や定期開催などの検討を進めます。



33

東部振興構想の位置づけ

ビジョン3 ①-2

ビジョン3 ③-2

プロジェクトのプロセス

STEP1 企画の検討をします。

この東部地域の住民によって、よりよいイベントとするには、どうしたらよいか検討をします。例えば、夜間の開催であったり、平日の開催であったり、定期的な開催であったり、どれが受け入れられるか、求められているのか、考えながら企画立案をします。

STEP2 事前準備を入念に行います。

2023年で得たノウハウや課題を考慮した事前準備を進めるとともに、新たな展開に備え、様々なシチュエーションを考え、出店者募集、開催PR、配置検討、各種手続きなどを進めます。

STEP3 イベントの開催

持続的に継続できるよう地域の人から求められるマルシェとなるよう、安全、安心で楽しいマルシェを開催します。食を通じて、地域に賑わいを創出し、東部地域を盛り上げます。



34



実施中の取組一覧

Ⅰ-① ヴィジョンⅠ 高齢者

取組名	実施主体
支え合いいきいきポイント推進事業	小牧市
こまき巡回バス「こまくる」 運行事業	小牧市
高齢者外出支援事業	小牧市
おたすけ隊	篠岡学区地域協議会 大城小学校区地域協議会
食料品等の移動販売支援	ローソンストア100 光ヶ丘小学校区地域協議会 小牧市社会福祉協議会
高齢者デジタルサポート事業	小牧市
高齢者移動支援事業	NPO法人生活支援 サービス・ラポール

35

〈参考指標〉

生きがいを持って暮らしている
65歳以上の住民の割合：80.9%（目指す方向 ↗ ）

取組内容
地域での支え合い活動に協力した場合にポイントを付与し、そのポイントを市内限定商品券で還元する。
交通空白地域の解消や、公共施設の利用促進を主な目的として、こまき巡回バス「こまくる」を運行。
高齢者の外出支援として、要介護1以上の方に行き先を限定しない一般タクシーの初乗料金分の利用券を交付する。また、要介護3以上の方に行き先を医療機関などに限定したりリフト付きタクシー等料金の一部を助成することで、高齢者の外出支援を行う。
不安や困りごとを抱えた高齢者を地域全体で支え、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域の高齢者のちょっとした困りごと支援（庭の草取り、剪定、水やり、窓ふき、電球交換、古紙・古布出し、話し相手など）を行う活動。
買い物に不便を感じている高齢者などを対象に移動販売車による食料品、生活必需品等の販売を行う。
情報格差（デジタルデバйд）の解消に向けて、スマホ教室等の取組を実施する。
高齢者や障がいのある方に対して、生活支援に関する事業を行い、住み慣れた地域での生活に係る問題の改善や解決を図り、安全な暮らしの向上と支え合いの地域づくりの増進に寄与することを目的に、福祉有償運送、生活の困り事支援、医療、介護等に係る相談等の活動を実施。

36

1-②	ヴィジョンⅠ 子育て世代	
	取組名	実施主体
	地域こども食堂	市民
	学習支援事業「駒来塾」	小牧市
	放課後子ども総合プラン運営事業	小牧市
	児童館管理運営事業	小牧市
	保育料無償化拡充事業	小牧市
1-③	ヴィジョンⅠ 次世代	
	取組名	実施主体
	地域3あい事業	市民
	まちづくりスクールミーティング	小牧市
	特色ある学校づくり推進事業	小牧市
	桃花台音楽講座	桃花台を考える会

37

〈参考指標〉 安心して子育てができると思う 20歳代から40歳代の割合 : 71.9% (目指す方向 ↗)	
取組内容	
下末地区において、「地域で多様な世代が交流できる場所をつくりたい」、「子育て中の親が一息つく場所をつくりたい」と地域住民が交流の場を創出。月1回の頻度で開催する。	
学力の定着が進んでいない中学生を対象に、ボランティアなどによる学習支援活動を実施する。また小学6年生を対象に、中学校入学後すぐに入塾できるような仕組みを構築する。	
国が示している放課後子ども総合プラン(児童クラブと放課後子ども教室の一体型整備)を実施する。 光ヶ丘小学校(令和3年度～)、篠岡小学校(令和4年度～)、陶小学校・大城小学校(令和5年度～)、桃ヶ丘小学校(令和6年度～)	
児童福祉法に規定されている児童福祉施設である児童館の管理運営。東部地域には、篠岡児童館と大城児童館が整備されており、指定管理制度にて運営を実施。	
子育て世代の負担軽減を図るため、認可保育施設を利用する0歳児から2歳児までの保育料の無償化を市独自に拡充する。	
〈参考指標〉 次世代が参加するプロジェクト数 (まちづくりのプロジェクト数) : 3件 (目指す方向 ↗)	
取組内容	
地区の集会所などを活用したふれあい活動や学びあいを通し、地域ぐるみで子育てに関わり、お年寄りを支えることができる「ふれあい・学びあい・支えあい」の地域づくりを実施。	
中学生と高校生の参加により実施し、グループワーク等を通して主体的に「まちづくり」について考えるきっかけとし、社会性を育むことを目的に実施。	
保護者や地域の方々と協働して、通学時の見守りや総合の時間を活用した体験学習など、子ども達の安全確保や学習支援の活動を行っている。	
東部地域出身のプロピアニスト 前田陽一朗氏を講師に招き、音楽文化を醸成するため、東部地域の住民向けに音楽講座を開催する。	

38

I-④

ヴィジョンⅠ 交流

取組名	実施主体
日本語教室	小牧市国際交流協会 (KIA)
多文化共生ワークショップ	小牧市
(再掲)地域こども食堂	市民
日本語塾「手まり塾」	市民
外国籍生徒との座談会	桃ヶ丘小学校区 地域協議会
SUN SUN FESTA	SUN SUN FESTA 実行委員会

I-⑤

ヴィジョンⅠ 都市インフラ

取組名	実施主体
(再掲) こまき巡回バス「こまくる」運行事業	小牧市
公園等の貸し出し (都市公園内行為許可など)	小牧市
アダプトプログラム	小牧市・市民・事業者

39

〈参考指標〉

プラットフォームによる交流イベント回数：10回（目指す方向 ↗ ）

取組内容
地域在住の外国人を対象に日常生活に必要な日本語を習得するための講座を開催。
日本人市民と外国人市民が、多文化共生の課題について意見交換を行うワークショップを開催。
下末地区において、「地域で多様な世代が交流できる場所をつくりたい」、「子育て中の親が一息つく場所をつくりたい」と地域住民が交流の場を創出。月1回の頻度で開催する。
市民が発起人となり、令和元年9月より、外国籍の小中学生に対し、マンツーマン方式による日本語学習をボランティアで実施。
桃ヶ丘小学校区地域協議会と桃陵中学校の外国にルーツのある生徒が“みんな「地域の人たち」助けあって笑顔で暮らせるために！”を実現するため、座談会を開催。
桃花台ニュータウン内にある集合住宅サンコート及び城山第3区でのコミュニケーション活性化のため、住民間交流の一環として開催。核家族化が進む団地内でこどもから高齢者までが集い、まずは顔見知りになることを目的に取組みを推進している。

〈参考指標〉

週1回以上公共交通機関を
利用している地域住民の割合：12.3%（目指す方向 ↗ ）

取組内容
交通空白地域の解消や、公共施設の利用促進を主な目的として、こまき巡回バス「こまくる」を運行。
地元の行事や市が後援するイベントなどを行う際、公園や緑道などの貸し出しを行っている。
市民・事業者がボランティア活動として、道路、公園などの市内の公共施設を愛情と責任をもって清掃活動を行う仕組みとして実施中。

40

2-① ヴィジョン2 農業・商工業

取組名	実施主体
(仮称)農業公園整備事業	小牧市
小牧ワイナリー	社会福祉法人AJU 自立の家
モモ栽培サポーター養成講座	JA尾張中央、 地域担い手育成総合支援協議会
モモ栽培サポータークラブ制度	JA尾張中央、 地域担い手育成総合支援協議会
充実 企業新展開支援 プログラム推進事業	小牧市
充実 次世代産業推進事業	小牧市

2-② ヴィジョン2 新規ビジネス

取組名	実施主体
創業支援セミナー	小牧市、小牧商工会議所、 愛知県信用保証協会
(再掲)高齢者移動支援事業	NPO法人生活支援 サービス・ラポール

41

〈参考指標〉

農業サポーター制度登録者数：24人（目指す方向 ↗ ）

取組内容
食の大切さを理解する場とするとともに、農業振興の発信の場とするため、(仮称)小牧市農業公園の整備を行う。
障がいのある人たちの就労支援の場として、2015年4月にオープン。ワイン事業に取組み、ぶどうの栽培、ワインの生産、加工、販売まで行っている。
モモの生産者の高齢化及び担い手不足の解消、モモの産地維持のため、栽培技術者の養成を栽培現場での実習を通して進めている。
養成講座受講者に対し、モモ栽培サポータークラブに加入していただき、援農コントラクターとして生産者を支援する取組。
市内事業者の操業を支援し市内産業の振興を図るため、企業新展開支援プログラムに基づいた補助制度を実施する。
市内次世代産業関連企業の設備導入、販路開拓、インターンシップ受入及び人材育成にかかる費用の一部を助成する。また、航空宇宙産業認証にかかる費用の助成制度を創設する。

〈参考指標〉

東部地域における起業・

創業に対する補助件数：6件（目指す方向 ↗ ）

取組内容
創業・経営に興味のある方などを対象に、創業の基礎知識やビジネスプランの立て方、計画的な資金調達などについて学ぶ創業予定者を支援するセミナーを実施。
高齢者や障がいのある方に対して、生活支援に関する事業を行い、住み慣れた地域での生活に係る問題の改善や解決を図り、安全な暮らしの向上と支え合いの地域づくりの増進に寄与することを目的に、福祉有償運送、生活の困り事支援、医療、介護等に係る相談等の活動を実施。

42

3-①

ヴィジョン3 地域資源

取組名	実施主体
新たな地域特産物の発掘 《こまきゴールド(桃)》	こまきゴールド生産推進協議会 JA尾張中央
名古屋コーチンのPR	小牧市、 (一社)小牧市観光協会、 小牧商工会議所
太良まめなしの里整備事業	小牧市
都市ブランド戦略	小牧市

43

〈参考指標〉

市のホームページ（東部まちづくりニュースのページ）：3,293件
の年間アクセス件数（目指す方向 ↗）

取組内容
「こまきゴールド」は、小牧市(上末)の桃生産者の桃園で発見された新品種。平成30年1月に農林水産省に登録を出願。数年間の経過観察を経て変異なく安定して生産できると認定され、令和4年10月に登録された。新たな地域特産物となることが期待されている。
小牧市(池之内)から始まった名古屋コーチンという地域資源を最大限に活用し、「名古屋コーチン発祥の地」として、観光振興・事業振興に取り組んでいる。愛知県内でも減少傾向にある養鶏業者も小牧市では若い後継者により引き継がれている。
太良上池、太良下池、白兵池の三つの農業用ため池と農地及び県の天然記念物に指定されているマメナシの自生地などの豊かな自然を守るため、農地景観と自然を保全するための最低限の整備を行う。
都市ブランド戦略に基づきアクションプランを策定するとともに、様々な媒体を用いて市内外に広くPRを行う。

44

3-② ヴィジョン3 住まい

取組名	実施主体
充実 空家等対策推進事業	小牧市
空家等対策事業 (セミナー・相談会)	桃花台を考える会
「まちレポこまき」 (インフラの維持管理)	小牧市
定住促進事業	小牧市

3-③ ヴィジョン3 住民活動

取組名	実施主体
桃花台音楽まつり	桃花台を考える会
(再掲)桃花台音楽講座	桃花台を考える会
(再掲)SUN SUN FESTA	SUN SUN FESTA 実行委員会

45

〈参考指標〉

戸建て住宅の空き家数：166棟（目指す方向 →）

取組内容
空家等の除却工事費に対する補助金を交付するとともに、相続人が不存在である空家等について、相続財産清算制度を活用し、管理・清算を行う。また、小牧市空家等対策計画改定に向けて空家等実態調査等を実施する。
「地域に空き家をつくらない」を目的に、地域住民向けに自分の家を将来、空き家にしない方法やポイントなどの内容で我が家の相続セミナー及び個別相談会を実施。
道路、緑道、公園などの不具合をLINEにより市民から情報提供してもらう「まちレポこまき」を開設。24時間365日情報提供が可能となり、安全・安心なまちづくりに寄与している。
若年世代の定住促進を図るため、子育てに対する不安や負担の軽減を目的とした三世同居・近居住宅の取得等、市内事業所の事業者の住宅取得や中古住宅を取得等した場合に、その費用の一部を助成する。

〈参考指標〉

区や市民活動団体などが開催する活動に過去1年間で：29.4%
1回以上参加したことがある地域住民の割合（目指す方向 ↗）

取組内容
地域住民の音楽文化の醸成のため、音楽イベントを年2回開催する。2回のうち1回は東部地域の住民等による演奏会を検討している。
東部地域出身のプロピアニスト 前田陽一朗氏を講師に招き、音楽文化を醸成するため、東部地域の住民向けに音楽講座を開催する。
桃花台ニュータウン内にある集合住宅サンコート及び城山第3区でのコミュニケーション活性化のため、住民間交流の一環として開催。核家族化が進む団地内でこどもから高齢者までが集い、まずは顔見知りになることを目的に取組みを推進している。

46

方向
②

計画の推進 地域経営

取組名	実施主体
小牧市土地利用見直し事業	小牧市

47

取組内容
桃花台区域の用途地域の変更や産業候補地区等の見直しを検討するとともに、小牧市都市計画マスタープラン及び小牧市立地適正化計画を改定し、必要な都市計画決定を行う。

48



その他の新たな取組一覧

1-①

ビジョンⅠ 高齢者

取組名	実施主体
NEW 食料品等の移動販売支援	マックスバリュ東海㈱ 小牧市社会福祉協議会 小牧市

1-②

ビジョンⅠ 子育て世代

取組名	実施主体
NEW 大城児童クラブ運営委託事業 (児童クラブ運営事業)	小牧市
NEW こども食堂支援事業	小牧市

49

〈参考指標〉

生きがいを持って暮らしている
65歳以上の住民の割合：80.9%（目指す方向 ↗）

取組内容
買い物に不便を感じている高齢者などを対象に移動販売車による食料品、生活必需品等の販売を行う。

〈参考指標〉

安心して子育てができると思う
20歳代から40歳代の割合：71.9%（目指す方向 ↗）

取組内容
児童クラブの質の向上と支援員の確保及び職員の事務負担の軽減を図るため、大城児童クラブの運営委託を実施する。
こどもの孤立・孤食を防止し、こどもが安心して過ごせる居場所を提供することも食堂の運営を支援し、あわせて、こどもを行政等の支援に繋げるため、児童館と連携して実施する「こども食堂」に対し、運営費の一部を補助する。

50



東部まちづくりの進捗確認

アクションプランの実行

リーディングプロジェクト

実施中の取組

その他の新たな取組

取組方針の
達成度の確認

取組の改善、追加

10の参考指標（高齢者～住民活動） のCheck

まちの状態の把握
まちづくりの方向性の確認

重要業績評価指標（KPI）のCheck

KPI(重要業績評価指標)	基準値 (基準年)	目標値 (令和8年)	目標値 (令和13年)	測定方法
東部地域の生産年齢人口割合 ※15歳～64歳	63.4% (H27)	54.0%	50.7%	国勢調査データに基づき算出します。

東部地域の将来像の実現

51



東部まちづくりの進捗状況って
どう把握していくのかな？



アクションプランは、リーディング
プロジェクト、実施中の取組、
その他の取組の категорияと併せ
て、構想に記載するキーワード
（取組方針）ごとにも分類されて
いるんだよ。



へ～そうなんだ。
いろいろなカテゴリーに分類され
ていることはわかったけど、それ
がどう進捗状況の把握につながる
のかな？



構想には、まちの状態を把握する
指標（KPI）と、取組方針（キー
ワード）ごとに参考指標を設定し
てあるんだよ。
それぞれ、アクションプランで取
組を進めて、構想で定める指標を
Checkすることで、まちづくりの
進捗状況を把握するんだよ。



なるほど！
構想の指標をCheckして、
アクションプランの取組をみて、
今後どんな取組が必要なのか、
把握していくんだね！！

52

小牧市民憲章

市制施行30周年

わたくしたち小牧市民は、小牧を

- 1 健康で生きがいのある 明るいまちにしましょう
- 1 感謝と思いやりのある あたたかいまちにしましょう
- 1 緑とやすらぎのある 美しいまちにしましょう
- 1 高い文化と教養のある 豊かなまちにしましょう
- 1 希望と働く喜びのある 活気あふれるまちにしましょう

小牧市民憲章は、市民の通じるべとして、健康で明るい生活を送るため、また、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確化し、心ふれあう豊かな社会を形成するため、小牧市制施行30周年を記念し、昭和60年5月15日に制定されました。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言(要約)

市制施行60周年

私たちは、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信します。

そこで、私たち小牧市民は、

- 一、こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
- 一、世代を越えて市民のつながりが生まれるまち
- 一、支え合うことでさらに住みよくなっていくまち

このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジNo.1都市」とすることを、ここに宣言します。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言は、小牧市の特徴である「子育て支援が充実している」姿を一層高め、「こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまち」を小牧市全体で目指し、市内外に発信していくため、小牧市制施行60周年を記念し、平成27年5月17日に宣言しました。